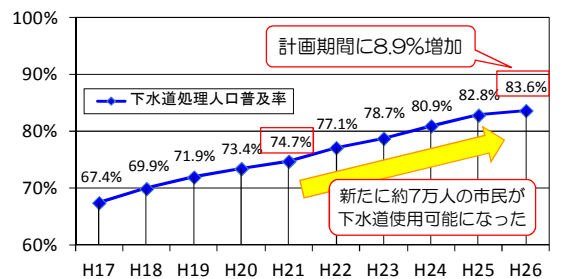


「下水道における良好な水循環の創造」の成果概要

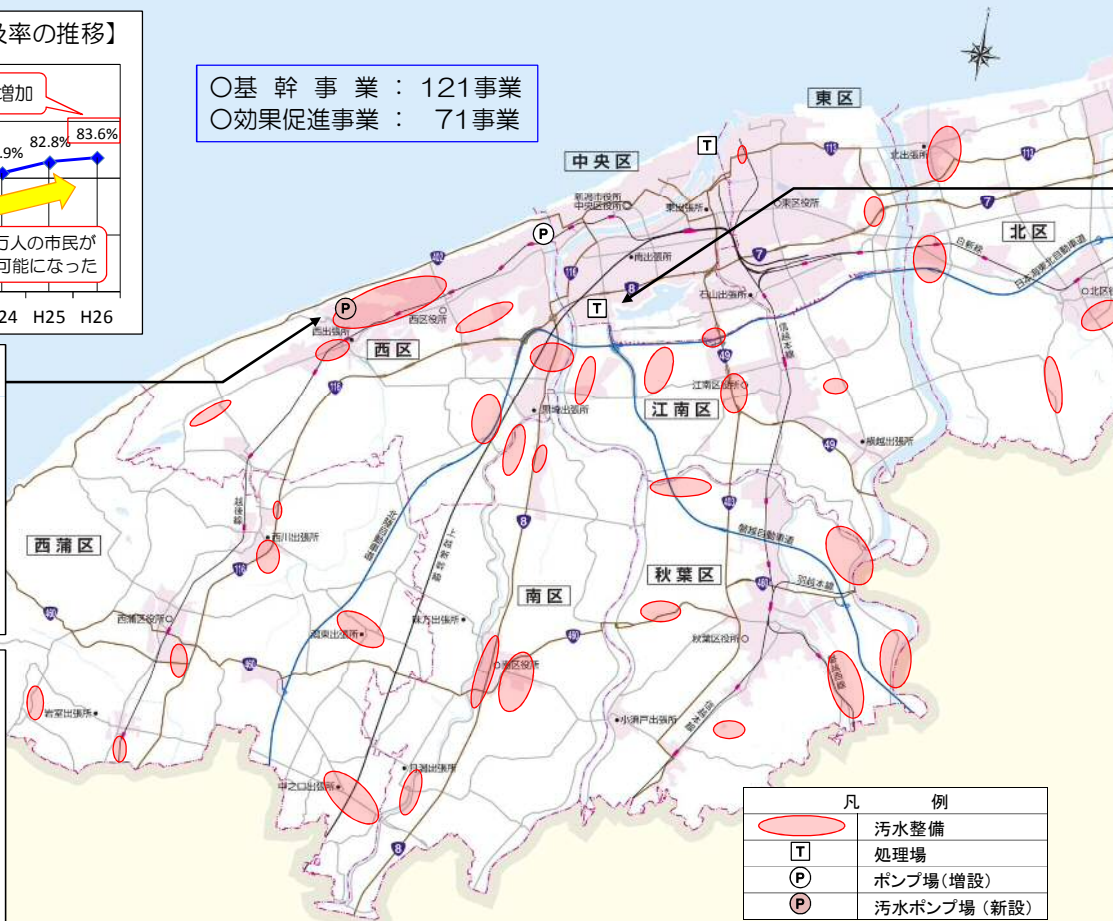
(社会資本総合整備計画)

計画の概要	計画の成果目標 (定量的指標)					
	成果目標	定量的指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画の期間：平成22年度～平成26年度(5年間) ◎計画の目標： 汚水処理が未整備である区域の下水道整備を進め、良好な水循環を創造する。 ◎総事業費：約295億円	下水道処理人口普及率を74.7%(H22当初)から82.5%(H26末)に増加	下水道処理人口普及率 (%)	74.7 %	-	82.5 %	83.6 %

【新潟市における下水道処理人口普及率の推移】



○基幹事業：121事業  
○効果促進事業：71事業



○基幹事業：中部下水処理場

汚泥焼却施設

消化ガス発電設備

消化ガス発電施設

汚泥焼却施設を廃止し消化ガス発電を導入

○効果促進事業：中部下水処理場

混合消化実証実験施設

未利用バイオマス混合消化の効果を検証

○基幹事業：五十嵐2の町汚水中継ポンプ場

五十嵐2の町汚水中継ポンプ場

汚水中継ポンプ場の整備

○基幹事業・効果促進事業：各事業

污水管の整備

凡 例	
○	汚水整備
T	処理場
P	ポンプ場(増設)
P	污水ポンプ場(新設)

今後の方針等

- ・下水道に求められる役割が多様化し、汚水整備に投資できる財源に限りがあるため、人口密度や接続意欲が高い地域を優先するなど、選択と集中による投資効果の高い下水道整備を展開する。
- ・下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽などから地域に最も適した整備手法を選択し、汚水処理における未普及地域の早期解消を図る。
- ・下水道整備の効果を早期に発現させるため、市民へわかりやすい広報・PRを行い、下水道への接続を促進する。
- ・中部下水処理場における消化ガス発電施設について、未利用バイオマスとの混合消化により発電量の増加を図るとともに、下水熱や太陽光発電など、下水道における資源・エネルギーの有効利用を推進する。